

葉柄専用サツマイモ苗の大量生産法					
<p>[ 要約 ] 葉柄専用サツマイモのほふく茎を腋芽を有した各節直下で切断し、培土に挿す（1芽挿し）と、25日前後の短期間に定植用の苗が少面積で大量に生産できる。</p> <p>苗養成時には、15 以上の平均気温条件が必要な他は、培土は水田土、真砂ともに適しN成分で200mg / ㎡前後の肥料分を施すと苗の生育は優れる。</p>					
担当部署	八女分場・中山間地作物研究室 生産環境研究所・土壌管理研究室			連絡先	0943-42-0292 092-924-2939
対象作物	野菜	専門項目	育苗	成果分類	新技術

[ 背景・ねらい ]

サツマイモの葉柄（イモヅル）は、根強い需要があり直売所では欠かせない品目で、今後は機能性食品として消費拡大も期待できる。また、栽培にはあまり経費を要せず、中山間地域農業の主な担い手である高齢者や女性でも取り組みが容易な品目である。

ここでは、葉柄専用品種「エレガントサマー」を用いてサツマイモ葉柄の安定・多収生産技術確立の前段として、苗を短期間に少面積で大量に生産できる方法を検討する。

[ 成果の内容・特徴 ]

1. 伸長したほふく茎を各節直下で切断し、腋芽を有した切断茎1節を培土に、節の部分を培土中に埋めるように挿す（1芽挿し）と、25日前後の短期間に定植用の実用的苗が少面積で大量に生産できる（図1）。
2. 苗養成のための温度条件は、気温では昼温20 - 夜温10（平均15）以上で、平均気温が22.5 まで及び地温が25 までの範囲では、共に高温ほど根部や地上部の生育が優れる（図2、3、一部データ省略）。
3. 苗養成のための培土には水田土および真砂ともに適し、培土にはN成分で200mg / ㎡前後の肥料分を施すと苗の生育は優れる。（表1）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

1. 苗養成に用いる切断茎は、腋芽の伸長が始まった節が苗養成は早い。
2. 苗養成時の管理では、特に多湿と過乾燥に留意する。
3. 葉柄生産のために多肥・多かん水栽培して得たいもは貯蔵が困難なため、種いもは窒素成分量10kg / 10 a 以下の少肥条件下で栽培して確保する。

[ 具体的データ ]



図1 葉柄専用サツマイモ苗の生産フロー図

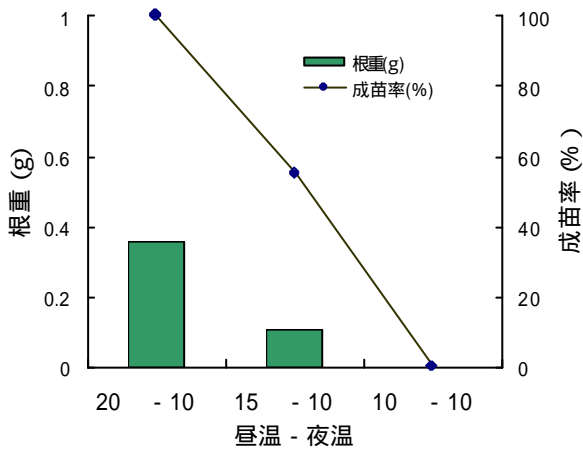


図2 気温条件と成苗率及び根重  
注) 14年2月28日植え付け、3月22日調査

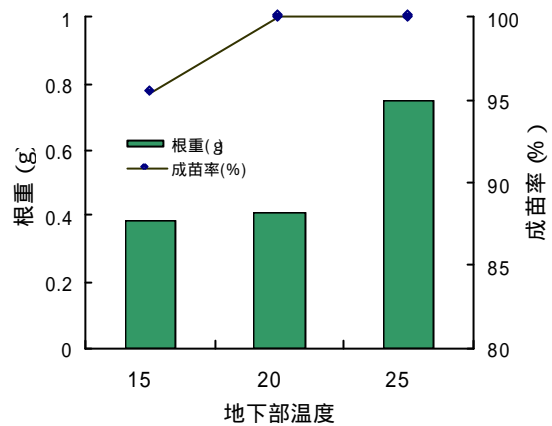


図3 地下部温度と成苗率及び根重  
注) 1. 13年11月6日植え付け、11月29日調査  
2. 気温条件は昼20 - 夜10

表1 培土の種類及び施肥量と切断茎からの発根及び苗の生育

培土の種類	施肥窒素量 (mg/1kg)	地上部					
		成苗率 (%)	苗重 (g)	伸長重 (g)	根重 (g)	葉数 (枚)	葉色
真砂	0	96	1.5	0.24	0.15	1.1	32.6
	50	96	1.8	0.34	0.24	1.3	34.5
	100	100	1.7	0.36	0.20	1.4	36.4
	200	98	2.0	0.42	0.33	1.5	37.4
水田土	0	96	1.4	0.19	0.12	0.9	34.7
	50	100	1.4	0.20	0.13	0.9	35.3
	100	96	1.8	0.39	0.23	1.5	36.1
	200	98	2.0	0.57	0.34	2.0	38.7

注) 14年3月22日植え付け、4月15日調査。葉色はSPAD値。

[ その他 ]

研究課題名：葉柄専用サツマイモの栽培技術確立

予算区分：経常

研究期間：平成13年度(平成12年～14年)

研究担当者：林 三徳、月時和隆

発表論文等：平成13年度 八女分場中山間地作物研究室試験成績概要書